

令和8年度

多様な言語的・文化的背景をもつ 子どもたちへの学習支援を考える

共催：一般財団法人自治体国際化協会 (CLAIR)

この研修では、多様な言語的・文化的背景をもつ子どもたちを取り巻く現状についての講義や事例紹介を通じ、多様性社会における学習支援や保護者等への支援のあり方について、現場における課題を共有し、学習支援の方法を考えます。

研修の ポイント

- 多様な言語的・文化的背景をもつ子どもに関する学習支援の現状と課題について理解を深める。
- 教育現場で現在生じている具体的な課題を理解したうえで、市町村や国際交流協会などの関係団体が取り組むべき体制づくりについて学ぶ。
- 子どもの学習支援を充実させるため、保護者への支援の在り方について学ぶ。
- 市町村・国際交流協会における現場の課題を整理し、具体的な政策案（事業案）を立案できるようになることを目指す。

開催要領

日 程

令和8年7月15日(水)～7月17日(金) (3日間)

場 所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対 象

教育委員会や児童福祉、多文化共生等を担当する自治体職員、地域国際化協会及び市町村国際交流協会の職員等

(多文化共生に関連して、地方公共団体や地域国際化協会と協働実績があるNPOまたはNGOの職員の方で、地方公共団体や地域国際化協会から受講推薦を受けた方。)

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿 泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経 費

9,350円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料代等を含みます。一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)からの助成(研修環境費2,000円/日)後の額です。CLAIRの助成対象外の方は、15,350円です。なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和8年6月3日(水)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。

※NPO、NGOの職員の方がお申込まれた場合は、受講推薦書が必要になります。

受講推薦書はJIAMホームページの書類様式集からダウンロードしてください。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途にメールで通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] https://www.jiam.jp

令和8年

7月

15日(水)

11:00~

12:30~

13:00~14:10

入寮受付・昼食
開講・オリエンテーション

講義 外国人児童生徒等教育の現状と課題

文部科学省 総合教育政策局 国際教育課

最新の外国人児童生徒数の推移や、日本語指導の現状を示す最新統計に加え、国が現在進めている施策についてご講義いただきます。

14:25~16:05

講義 教育・支援現場における「多様な言語的文化的背景をもつ子ども」の教育

東京学芸大学 教育学部 教授 齋藤 ひろみ 氏

教育・支援現場の課題として、異文化・生活適応、日本語学習、教科学習、キャリア形成等に関し、ご講義いただきます。さらに、その課題に対する学校や自治体・地域の団体の取り組みの事例を示すとともに、教育・支援環境づくりの方向性についてもご講義いただきます。

16:20~17:30

情報共有・意見交換

東京学芸大学 教育学部 教授 齋藤 ひろみ 氏

自治体や団体の体制・取組と課題、そして、課題解決のアイデアに関して、意見交換、情報共有をしていただきます。

18:00~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:40

講義 保護者支援の課題と支援方法について

東洋大学 福祉社会デザイン学部 子ども支援学科 教授 南野 奈津子 氏

子どもの発達や学校生活を支えるには、保護者への支援が欠かせません。言語や文化の違いから生じる不安や孤立を和らげ、親子双方が安心して学び合える環境づくりが重要です。本講義では、効果的な親子支援の方向性や具体的な方法、実践例をご講義いただきます。

10:50~12:30

事例紹介

①石岡市の取組 茨城県石岡市 教育委員会学校教育課 指導主事 金敷 由紀 氏

②甲賀市の取組 滋賀県甲賀市 市民活動推進課多文化共生推進室 係長 上原 ジャンカルロ 氏

主査 畑中 茉佑 氏

コーディネーター:関西学院大学人間福祉学部 社会起業学科 助教 鈴木 暁子 氏

『外国住民が増加傾向になる地域』と『既に外国人住民が集住している地域』

この二つの自治体から、現在取り組んでいる施策と直面している課題等について、それぞれの実態に基づいた事例をご紹介します。

13:30~17:00

演習 課題演習

関西学院大学人間福祉学部 社会起業学科 助教 鈴木 暁子 氏

NPO法人希望の光の代表 山家 ヤスエ 氏

これまでの講義で学んだ知識を踏まえ、受講者同士で討議し、多様な言語的・文化的背景をもつ子どもたちに必要な学習支援施策等について検討します。

9:25~12:00

演習 発表・意見交換・講評

関西学院大学人間福祉学部 社会起業学科 助教 鈴木 暁子 氏

NPO法人希望の光の代表 山家 ヤスエ 氏

前日にグループで討議した内容について発表後、講師から講評をいただきます。

13:00~14:10

講義 研修の総括とこれからの学習支援のために

関西学院大学人間福祉学部 社会起業学科 助教 鈴木 暁子 氏

NPO法人希望の光の代表 山家 ヤスエ 氏

自治体や国際交流協会が地域の学習支援をどのように支え、発展させていけるのか。研修を振り返りながら、その役割と可能性についてご講義いただきます。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

■ 一般財団法人自治体国際化協会が下記のとおりに助成します。

① 地方公共団体に属する職員……………研修環境費の一部(2,000円/日)を助成

※ 地方公共団体に属する職員については、研修環境費のみの助成となっていますので、ご注意ください。

② 地域国際化協会、市区町村の国際交流協会に属する職員……………研修環境費の一部(2,000円/日)及び往復交通費の全額を基準とした額を助成

※ 助成金に関する詳細は、一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)多文化共生部多文化共生課までお問い合わせください。

TEL:03-5213-1725 FAX:03-5213-1742 ホームページ:<https://www.clair.or.jp/j/multiculture/jiam/index.html> E-mail:tabunka@clair.or.jp